事務事業評価シート

事業番号		40	0										
事業名			公共工事安全点核			これ は 奴弗	局名	都市建設局					
						ハトロール社員	部名	土木部					
事業開始年度			F			昭和53年度	課名	道路管理課、緑土木事務 所、南土木事務所					
根拠法令等			道路	法42纟	条(道路	の維持管理)ほか	所属名	岩本邦夫、小山武彦、相原次久					
			■直接実施										
実施方法			□業務委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:)										
			口補助金(補助先:)										
		口その他(
		目的 のために)	公共工事(道路・下水道)の現場保安施設等の安全点検を実施、道路の安全で円滑 な交通を確保することを目的とする。										
事業概要		対 象 を対象に)	相模原市が発注し、相模原市が管理する道路上で行われ、かつ、発注金額が500万 円以上の工事が対象である。										
			(1) 契約課から送付された工事落札結果一覧から対象工事を選定 (2) パトロールは、週2回、9~16時の時間帯に行う。 (3) パトロール用車両により再任用職員2名で選定箇所を巡回し、チェック表に基づき 工事の安全施設の設置状況等を確認している。 ※ チェック表記載事項 警戒・規制標識板、工事表示板、バリケード、回転灯、予告板、迂回表示板、 信号機、段差表示、通行管理状況等の全21項目 (4) 工事状況に問題があった場合は、「直接現場で指導」「現場での応急措置」 「工事担当課への通知」などの対応を行う。										
	事業(の必要性	工事に関し工事担当課による監督とは別にパトロールを実施することで、より安全な 工事の施工が行われ、結果として安全・適正な公共交通の確保ができる。										
						平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度予算					
コスト		事業費	(直接経費)			114 千円							
		正規單	世界者数 世景 - 			0人	0人	0人					
	人 件 費	-5				0 千円							
		嘱託職 臨時職				0.75 人 2,190 千円	1.5 人 4,503 千円	1.5 人 4,503 千円					
		四吋喊貝守 人件費				2,190 千円							
			事業費			2,190 千円							
	市民一人あたりの事業				坐	2,304 113							

			平成21年度実績	平成22年度実績			平成23年度予算						
	[国·県支出金	0 千円	0 千円			0 千円						
財源内訳	Ę	A	0 千円	0 千円			0 千円						
	その他	፱()	0 千円		0 千円		0 千円						
		一般財源	114 千円		44 千円		40 千円						
			項目				金額						
平成23年度 事業費の 主な内訳 (人件費を除く)		需用費 消耗品 4											
		=											
		千円											
		千円											
活動実績1		活動	指標名	単位	H21年度実績	Н	22年度実績	H23年度見込					
		点検箇所数		箇所	1,591		2,432	1,455					
		(総事業費	費/活動指標)	千円	1.4		1.9	3.1					
活動実績2		活動	指標名	単位	H21年度実績	Н	22年度実績	H23年度見込					
単位当たりコスト2		(総事業費											
成果目標 (現状の成果及び 今後どのようにした いか、定量的な評 価で示す)		不良な工事(安全施設の設置状況が芳しくないもの)の件数をOとする。											
成果実績		成果	:指標名	単位	H21年度実績	Н	22年度実績	H23年度見込					
		不良工事件数		件数	4		3	2					
特記事項 (事業の沿革等)		担当職員は「不法投棄物の回収」「道路上の穴などの不具合発見のための道路パトロール」等も行っている。											
事業の自己評価 (今後の事業の方 向性、課題等)		不良工事件数 0件を目指す。第三者によるパトロールを通じたけん制・アナウンス効果も期待できることから、0件実現後も本事業は実施すべきところ、現在の週2回の実施はパトロール頻度として過多であり、回数の見直しを行うべきものと思料する。											
		・必要性 ■ある □ない ・ 有効性 ■ある □ない ・効率性 ■ある □ない											
		《評価の区分》	□廃止 □民間		構築 ■見直	し	□ 現状維持	 持 □拡充					
		《評価区分の理目	i —			_							
評(西	道路、下水道の工事の安全性の確保や通行する市民の安全で円滑な通行を確保するため必要な事業であり、コスト面でも既に見直しが行われている。 自己評価でも回数の見直しについて再考が必要としているが、平成25年度に予定している組織再編がなされれば、他のパトロールと統合も可能であることから、組織再編に合わせてパトロールの回数、方法について再検討を行うものとする。											
H24年度 予算への反映		H24年度予算額、職員定数共に現状維持。											
経営評価委員会 による意見		〇見直し 局評価のとおり他のパトロールとの統合について速やかに検討すべき。											